

# 令和7年度・内航タンカー船員実態調査報告書

令和8年4月13日

全国内航タンカー海運組合

船員対策委員会

— 目 次 —

はじめに	…	1
1. 回答状況	…	2
2. 年齢構成（乗・下船中の分類）	…	4
3. 年齢別船員数及び割合の推移（10年間）	…	5
4. 総トン数・船種別平均年齢（乗船中船員）	…	6
5. 職種別平均年齢（乗・下船船員の合計）	…	9
6. 入社歴及び前職	…	10
7. 採用・退職・休暇関係	…	13
8. 海技免状保有状況	…	16
9. 船舶料理士保有状況	…	16
10. STCW基本訓練受講状況・予定	…	16
11. 船員不足の考察	…	17
12. 船員対策委員会からの提言	…	18

はじめに

全国内航タンカー海運組合では、船員の高齢化に伴い、若年船員の確保、船員不足への対応、関係者の理解促進に役立てることを目的に、毎年**10月1日現在**における内航タンカーに乗船中の船員及び下船中船員の年齢構成、採用・退職状況等を調査しています。(平成17年に調査開始)

令和7年度も、運送事業者(オペレーター)を経由して船主(オーナー)に調査票の提出ご協力をお願いしました。今年度も回収率を上げるべく、対象事業者船員担当者様の協力を得て提出をお願いし、**回収率は68.6%**(対象1,023隻の内、702隻の回答)と、例年並みの回収率が確保出来ました。

回収率の内訳をみると、船型では**200G/T未満の小型船(35.3%)**、船種では**特タン船(64.7%)の回収率がやや低い**という、例年同様の傾向となり、回収率を上げていくことは課題ではありますが、概ね実態が反映される水準は保たれたものと思われま

今回の調査から推計される船員総数は、**9,458名(前年度9,457名)**で前年とほぼ同数となりました。これは、**対象隻数1,023隻(前年度1,036隻)減少、予備員率1.42(前年度1.40)若干増、新卒者の採用減少(224名→203名)**したことを考えると、大型船では船員需給が安定し推移したものと推測されます。しかしながら、**採用の難しさ、定着性の悪さ、他船種・他業種への流出**は、依然課題として残されたままとなっており、船員不足につながるこれらの要因は、一つ一つ排除する努力が必要ではないかと思われま

また、今回の調査による船員の**平均年齢は45.3才(前年度45.2才)**で、若干増となりました。過去10年の大きな流れでは、若年世代が増加(**30才未満割合10年で5.1%増加**)したと、**高齢世代割合が減少(50歳以上割合10年で9.9%減少)**したことが一因ですが、この傾向とは別に、若年層の**早期退職者の増加**や**70歳以上の高齢船員への依存割合が高まっている**ことへも早急に対応が望まれます。

また、このほかにも本報告書では、組合員各社からの貴重な実態を集計した上で、数多くの統計的データとしてまとめておりますので、是非、各社・グループの船員対策等にご活用下さい。

長年にわたり内航タンカー業界を支えて来た団塊世代の船員が退職し、中堅世代を他業種から採用することが難しい現状においては、若手船員を採用し育成していかなければならないことは明白であります。このためには、令和4年4月から実施された「内航船員の働き方改革」に関連する法改正に対して、組合員各社がコンプライアンスを前提にした取り組みが可能となるよう、業界団体としてサポートを行い、さらには、船員の労働環境改善に向けた取り組みについて、荷主や行政への理解、協力につなげて行くことが最重要課題と思っております。

最後になりますが、本調査にご協力をいただきました、運送事業者、船主の船員担当者の方々に改めて厚くお礼を申し上げますと共に、今後ともご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国内航タンカー海運組合  
船員対策委員会  
委員長 越智 崇

## 1. 回答状況

(1)対象隻数 : 1,023隻

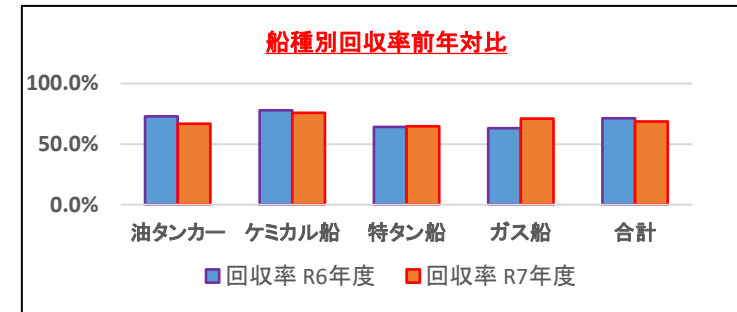
(2)回答隻数 : 702隻 (回収率:68.6%)

※調査票の回収方法は、内航総連合会の「構造改善対策賦課金」の徴収対象船舶リストにより、運送事業者に船主分の調査票の配布回収を依頼し実施。

※回収率68.6%の内訳は下段表のとおり。(本年度は、小型船、特タン船の事業者からの提出割合が低い)

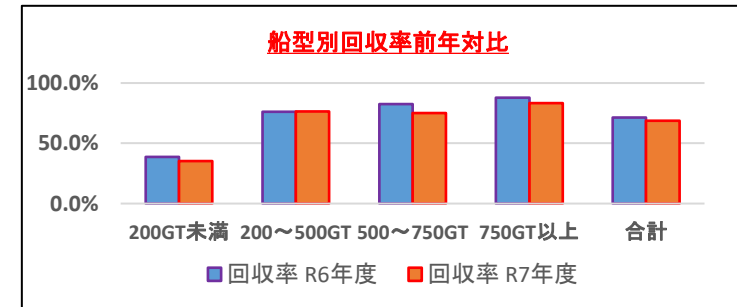
## (3)船種別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度
油タンカー	581	580	424	387	73.0%	66.7%
ケミカル船	185	186	144	141	77.8%	75.8%
特タン船	148	139	95	90	64.2%	64.7%
ガス船	122	118	77	84	63.1%	71.2%
合計	1,036	1,023	740	702	71.4%	68.6%



## (4)船型別回答内訳

	調査対象隻数		回答隻数		回収率	
	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度
200GT未満	243	232	94	82	38.7%	35.3%
200～500GT	348	348	265	266	76.1%	76.4%
500～750GT	184	181	152	136	82.6%	75.1%
750GT以上	261	262	229	218	87.7%	83.2%
合計	1,036	1,023	740	702	71.4%	68.6%



## (5)回答船員数

( )は前年度船員数を示す。

合計(乗船中・下船中)7,021名(7,366名) ①乗船中の船員数4,930名(5,244名) ②下船中の船員数2,091名(2,122名)

## (6)内航タンカー船員の総計(推計)

上記船員数に各船種、船型別の回収率から算出した推計船員数と予備員率を乗じた内航タンカー全船での船員数は以下の通り推計される。

合計(乗船中・下船中)9,458名(9,457名) ①乗船中の船員数6,641名(6,733名) ②下船中の船員数2,817名(2,724名)

※ 推計船員数は同数、予備員率(1.40→1.42)増加も含め、ほぼ昨年並みの船員数が維持出来たと推計。

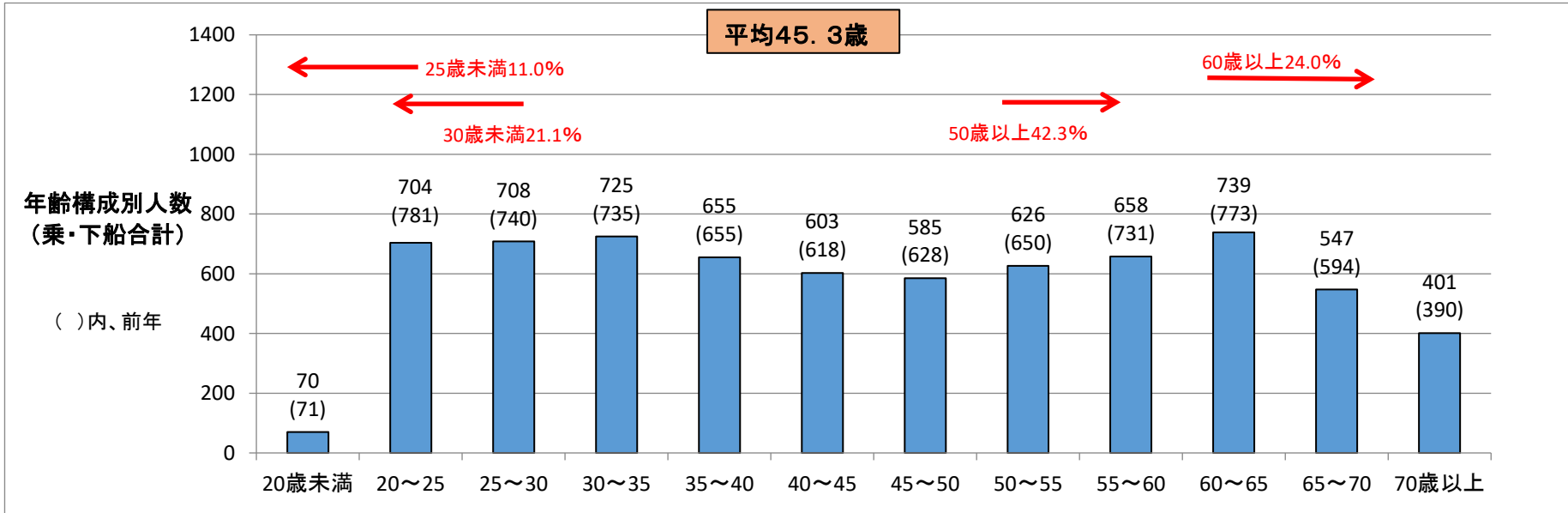
## ◎ 回答状況(詳細)

乗船中船員の集計	船種	船型区分 G/T	対象隻数	回答隻数	回収率	回答船員数	平均乗員数	推計船員数
			①	②	③ (②/①)	④	④/②	⑤ (④/③)
乗船中船員の集計	油タンカー	200未満	191	66	34.6%	225	3.4	651
		～500未満	130	106	81.5%	543	5.1	666
		～750未満	52	37	71.2%	255	6.9	358
		～1000未満	51	45	88.2%	408	9.1	462
		～1600未満	1	1	100.0%	10	10.0	10
		～3000未満	27	21	77.8%	226	10.8	291
		3000以上	128	111	86.7%	1,327	12.0	1,530
	小計		580	387	66.7%	2,994	7.7	3,969
	ケミカル船	200未満	3	1	33.3%	2	2.0	6
		～500未満	136	103	75.7%	548	5.3	724
		～750未満	43	34	79.1%	225	6.6	285
		～1000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		～1600未満	4	3	75.0%	32	10.7	43
		～3000未満	0	0	0.0%	0	0.0	0
		3000以上	0	0	0.0%	0	0.0	0
	小計		186	141	75.8%	807	5.7	1,057
	特タン船	200未満	38	15	39.5%	66	4.4	167
		～500未満	73	51	69.9%	240	4.7	344
		～750未満	24	20	83.3%	132	6.6	158
		～1000未満	3	3	100.0%	25	8.3	25
		～1600未満	1	1	100.0%	10	10.0	10
～3000未満		0	0	0.0%	0	0.0	0	
3000以上		0	0	0.0%	0	0.0	0	
小計		139	90	64.7%	473	5.3	704	
ガス船	200未満	0	0	0.0%	0	0.0	0	
	～500未満	9	6	66.7%	36	6.0	54	
	～750未満	62	45	72.6%	294	6.5	405	
	～1000未満	25	14	56.0%	120	8.6	214	
	～1600未満	10	8	80.0%	82	10.3	103	
	～3000未満	6	6	100.0%	65	10.8	65	
	3000以上	6	5	83.3%	59	11.8	71	
小計		118	84	71.2%	656	7.8	912	
合計	200未満	232	82	35.3%	293	3.6	824	
	～500未満	348	266	76.4%	1,367	5.1	1,787	
	～750未満	181	136	75.1%	906	6.7	1,206	
	～1000未満	79	62	78.5%	553	8.9	702	
	～1600未満	16	13	81.3%	134	10.3	165	
	～3000未満	33	27	81.8%	291	10.8	356	
	3000以上	134	116	86.6%	1,386	11.9	1,601	
合計		1,023	702	68.6%	4,930	7.0	6,641	
下船中船員の集計						回答船員数 ⑥	予備員率 ⑦(⑥/④+1)	推計予備員数 ⑧(⑤×⑦-⑤)
						2,091	1.42	2,817
総合計 (⑤+⑧)				回答数計	7,021	推計船員数	9,458	

2. 年齢構成(乗・下船中の分類)

(1) 年齢区分別人数

		20歳未満	20~25	25~30	30~35	35~40	40~45	45~50	50~55	55~60	60~65	65~70	70歳以上	計
乗船中	人数	47	484	512	519	459	443	435	430	473	520	352	256	4,930
	年齢計	883	10,797	13,811	16,545	16,950	18,637	20,435	22,332	26,917	32,202	23,502	18,652	221,663
	平均年齢	18.8	22.3	27.0	31.9	36.9	42.1	47.0	51.9	56.9	61.9	66.8	72.9	45.0
	比率	1.0%	9.8%	10.4%	10.5%	9.3%	9.0%	8.8%	8.7%	9.6%	10.5%	7.1%	5.2%	100%
下船中	人数	23	220	196	206	196	160	150	196	185	219	195	145	2,091
	年齢計	431	4,857	5,278	6,603	7,234	6,708	7,063	10,172	10,537	13,570	13,063	10,652	96,168
	平均年齢	18.7	22.1	26.9	32.1	36.9	41.9	47.1	51.9	57.0	62.0	67.0	73.5	46.0
	比率	1.1%	10.5%	9.4%	9.9%	9.4%	7.7%	7.2%	9.4%	8.8%	10.5%	9.3%	6.9%	100%
合計	人数	70	704	708	725	655	603	585	626	658	739	547	401	7,021
	年齢計	1,314	15,654	19,089	23,148	24,184	25,345	27,498	32,504	37,454	45,772	36,565	29,304	317,831
	平均年齢	18.8	22.2	27.0	31.9	36.9	42.0	47.0	51.9	56.9	61.9	66.8	73.1	45.3
	比率	1.0%	10.0%	10.1%	10.3%	9.3%	8.6%	8.3%	8.9%	9.4%	10.5%	7.8%	5.7%	100%
女性船員(上記の内数)		1	32	16	14	3	1	2	3	2	0	0	1	75
		前年比+11名、平均年齢29.3歳、D職員31名(内、船長2名、一航7名)、D部員19名、E職員12名(内、機長1名、一機6名)、E部員8名、司厨員5名												
派遣船員(上記の内数)		1	35	28	30	29	16	20	29	20	40	25	29	302
		前年比△40名、平均年齢54.9歳(D職員114名、D部員67名、E職員72名、E部員18名、司厨員31名)												



- ① 全船種平均年齢(乗・下船合計)は45.3歳(前年度45.2歳)で、ほぼ横ばい。
- ② 要因として、ここ1~2年新卒採用が鈍化し、60歳以上船員の占める割合が増加している。

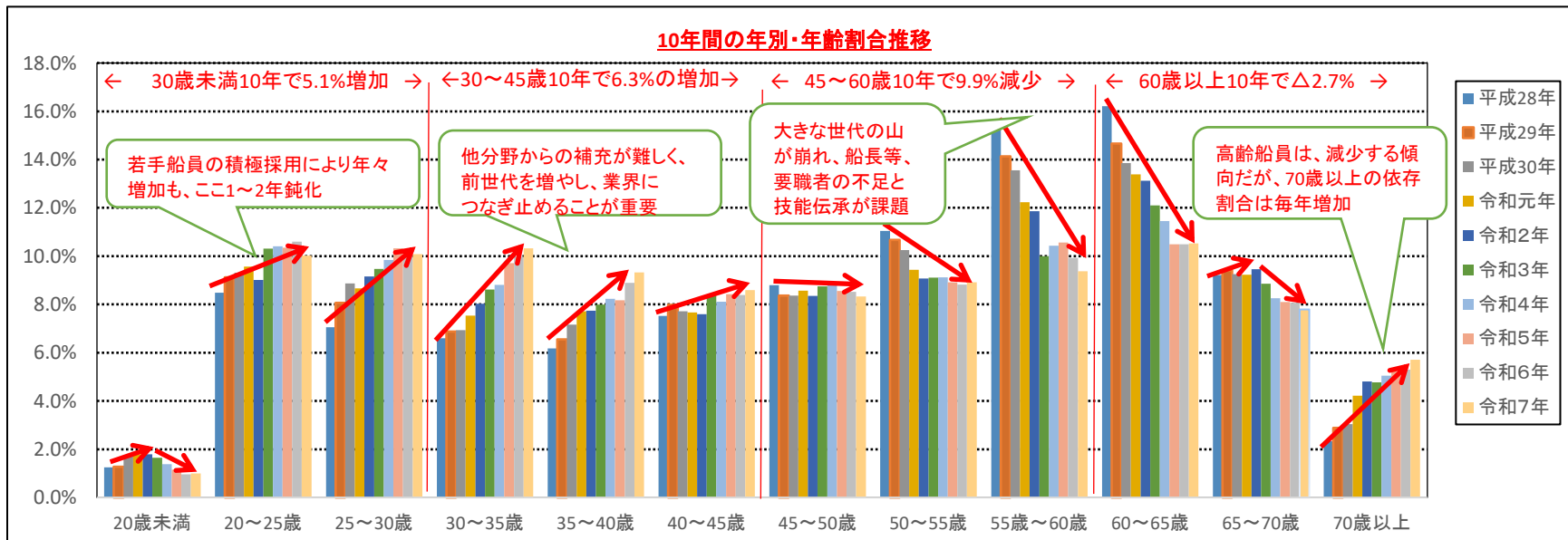
### 3. 年齢別船員数及び割合の推移(10年間)

#### (1) 年齢別船員数

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	報告船員数
平成28年	95	643	535	500	468	570	667	837	1,161	1,229	699	177	7,581
平成29年	96	686	606	517	493	600	629	803	1,063	1,103	708	217	7,521
平成30年	127	693	660	516	533	574	623	763	1,009	1,031	689	226	7,444
令和元年	135	719	651	566	580	576	644	709	919	1,006	694	317	7,516
令和2年	128	645	655	574	554	543	598	649	849	939	677	344	7,155
令和3年	124	776	713	649	602	630	659	686	753	911	667	359	7,529
令和4年	104	780	738	660	617	608	667	684	782	858	619	378	7,495
令和5年	84	756	754	710	597	616	625	652	772	767	592	383	7,308
令和6年	71	781	740	735	655	618	628	650	731	773	594	390	7,366
令和7年	70	704	708	725	655	603	585	626	658	739	547	401	7,021
合計	1,034	7,183	6,760	6,152	5,754	5,938	6,325	7,059	8,697	9,356	6,486	3,192	73,936

#### (2) 年齢別船員割合

	20歳未満	20～25歳	25～30歳	30～35歳	35～40歳	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55歳～60歳	60～65歳	65～70歳	70歳以上	合計
平成28年	1.3%	8.5%	7.1%	6.6%	6.2%	7.5%	8.8%	11.0%	15.3%	16.2%	9.2%	2.3%	100.0%
平成29年	1.3%	9.1%	8.1%	6.9%	6.6%	8.0%	8.4%	10.7%	14.1%	14.7%	9.4%	2.9%	100.0%
平成30年	1.7%	9.3%	8.9%	6.9%	7.2%	7.7%	8.4%	10.2%	13.6%	13.9%	9.3%	3.0%	100.0%
令和元年	1.8%	9.6%	8.7%	7.5%	7.7%	7.7%	8.6%	9.4%	12.2%	13.4%	9.2%	4.2%	100.0%
令和2年	1.8%	9.0%	9.2%	8.0%	7.7%	7.6%	8.4%	9.1%	11.9%	13.1%	9.5%	4.8%	100.0%
令和3年	1.6%	10.3%	9.5%	8.6%	8.0%	8.4%	8.8%	9.1%	10.0%	12.1%	8.9%	4.8%	100.0%
令和4年	1.4%	10.4%	9.8%	8.8%	8.2%	8.1%	8.9%	9.1%	10.4%	11.4%	8.3%	5.0%	100.0%
令和5年	1.1%	10.3%	10.3%	9.7%	8.2%	8.4%	8.6%	8.9%	10.6%	10.5%	8.1%	5.2%	100.0%
令和6年	1.0%	10.6%	10.0%	10.0%	8.9%	8.4%	8.5%	8.8%	9.9%	10.5%	8.1%	5.3%	100.0%
令和7年	1.0%	10.0%	10.1%	10.3%	9.3%	8.6%	8.3%	8.9%	9.4%	10.5%	7.8%	5.7%	100.0%



## 4. 総トン数・船種別平均年齢(乗船中船員)

## (1) 総トン数別平均年齢

	7年度				3年度 平均年齢	4年度 平均年齢	5年度 平均年齢	6年度 平均年齢	7年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
200未満	82	293	3.6	14,011	49.3	48.6	48.0	47.7	47.8
500未満	266	1,367	5.1	64,903	48.2	47.8	48.4	47.6	47.5
750未満	136	906	6.7	43,384	48.5	48.1	48.0	47.9	47.9
1000未満	62	553	8.9	24,706	45.1	44.6	45.1	45.0	44.7
1600未満	13	134	10.3	5,377	39.5	39.0	39.3	39.6	40.1
3000未満	27	291	10.8	12,518	42.5	42.8	41.7	42.7	43.0
3000以上	116	1,386	11.9	56,764	41.1	41.5	40.6	41.5	41.0
合計	702	4,930	7.0	221,663	46.6	45.5	45.1	45.1	45.0

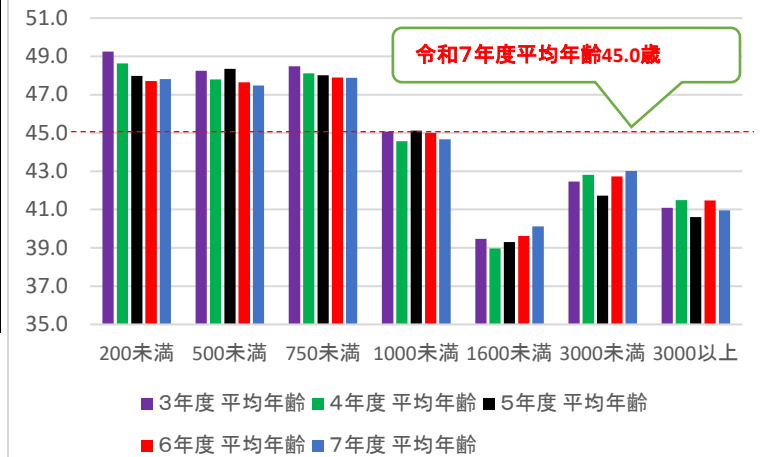
・本年度乗船中の平均年齢はの45.1歳(昨年45.1)であったが、船型別にみると、200GT未満船の47.8歳に対して、3,000GT以上船は41.0歳であり、小型船／大型船での平均年齢差は約6.8歳(昨年6.2歳)とやや広がる。

## (2) 船種別平均年齢(乗船中)

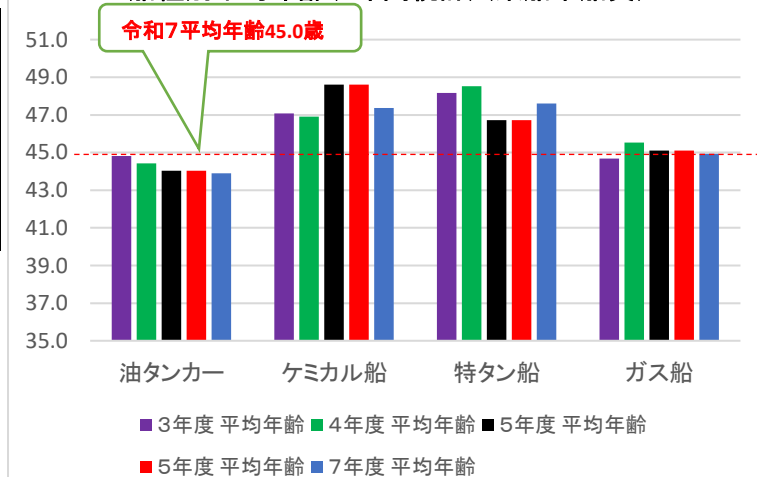
	7年度				3年度 平均年齢	4年度 平均年齢	5年度 平均年齢	5年度 平均年齢	7年度 平均年齢
	隻数	船員数	平均乗員	年齢計					
油タンカー	387	2,994	7.7	131,444	44.8	44.4	44.0	44.0	43.9
ケミカル船	141	807	5.7	38,219	47.1	46.9	48.6	48.6	47.4
特タン船	90	473	5.3	22,521	48.2	48.5	46.7	46.7	47.6
ガス船	84	656	7.8	29,479	44.7	45.5	45.1	45.1	44.9
合計	702	4,930	7.0	221,663	46.6	45.5	45.3	45.1	45.0

・令和7年度で平均年齢を下回るのは油タンカー(43.9歳)とガス船(44.9歳)。  
・全体的に船種間の年齢格差は、狭まっている傾向。

総トン数別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



船種別平均年齢(5年間統計)(乗船中船員)



(年齢構成:船種別詳細①)

	20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計	
白	200未満	0	3	9	8	7	1	3	7	6	5	7	14	70
	～500未満	1	4	12	15	17	12	21	18	19	15	13	9	156
	～750未満	1	14	23	29	14	21	18	16	21	24	27	18	226
	～1000未満	5	24	23	20	20	17	18	14	6	11	15	13	186
	～1600未満	0	0	1	1	1	2	0	1	1	1	2	0	10
	～3000未満	1	31	15	20	22	18	15	16	17	30	14	8	207
	3000以上	15	179	115	125	84	86	81	79	81	74	56	20	995
	人数	23	255	198	218	165	157	156	151	151	160	134	82	1,850
	年齢計	431	5,695	5,316	6,940	6,085	6,586	7,334	7,825	8,577	9,920	8,954	5,958	79,621
平均	18.7	22.3	26.8	31.8	36.9	41.9	47.0	51.8	56.8	62.0	66.8	72.7	43.0	
黒	200未満	0	12	16	20	16	15	15	8	18	16	5	14	155
	～500未満	4	13	50	43	25	49	39	41	35	37	24	27	387
	～750未満	1	0	5	2	4	0	1	2	6	2	3	3	29
	～1000未満	1	10	26	17	24	22	21	25	28	20	17	11	222
	～1600未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～3000未満	0	1	2	0	2	1	2	0	2	8	0	1	19
	3000以上	5	44	26	46	42	19	33	24	27	36	24	6	332
	人数	11	80	125	128	113	106	111	100	116	119	73	62	1,144
	年齢計	209	1,779	3,384	4,065	4,177	4,444	5,212	5,191	6,614	7,329	4,886	4,533	51,823
平均	19.0	22.2	27.1	31.8	37.0	41.9	47.0	51.9	57.0	61.6	66.9	73.1	45.3	
ケミカル	200未満	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	～500未満	1	34	56	38	51	53	54	49	58	58	54	42	548
	～750未満	0	19	16	19	13	26	21	23	31	37	8	12	225
	～1000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～1600未満	2	4	4	5	5	4	1	3	2	1	0	1	32
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	3	57	76	62	70	84	76	75	91	96	62	55	807
	年齢計	55	1,260	2,068	1,990	2,580	3,543	3,566	3,888	5,185	5,955	4,124	4,005	38,219
平均	18.3	22.1	27.2	32.1	36.9	42.2	46.9	51.8	57.0	62.0	66.5	72.8	47.4	
特タン	200未満	0	0	8	4	9	3	7	4	10	10	5	6	66
	～500未満	4	7	18	27	22	26	26	29	22	22	21	16	240
	～750未満	0	4	14	7	12	19	12	11	18	21	9	5	132
	～1000未満	1	1	3	4	3	2	3	4	2	0	1	1	25
	～1600未満	0	2	1	0	1	4	0	0	1	0	1	0	10
	～3000未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3000以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	5	14	44	42	47	54	48	48	53	53	37	28	473
	年齢計	94	314	1,195	1,341	1,729	2,291	2,253	2,504	3,002	3,292	2,466	2,040	22,521
平均	18.8	22.4	27.2	31.9	36.8	42.4	46.9	52.2	56.6	62.1	66.6	72.9	47.6	
ガス	200未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	～500未満	0	2	2	2	2	2	3	4	5	9	5	0	36
	～750未満	0	24	19	28	27	20	23	31	29	50	23	20	294
	～1000未満	1	15	13	11	14	9	7	7	8	19	10	6	120
	～1600未満	2	17	16	6	3	3	6	4	10	7	5	3	82
	～3000未満	1	10	13	11	9	5	2	4	5	3	2	0	65
	3000以上	1	10	6	11	9	3	3	6	5	4	1	0	59
	人数	5	78	69	69	64	42	44	56	62	92	46	29	656
	年齢計	94	1,749	1,848	2,209	2,379	1,773	2,070	2,924	3,539	5,706	3,072	2,116	29,479
平均	18.8	22.4	26.8	32.0	37.2	42.2	47.0	52.2	57.1	62.0	66.8	73.0	44.9	

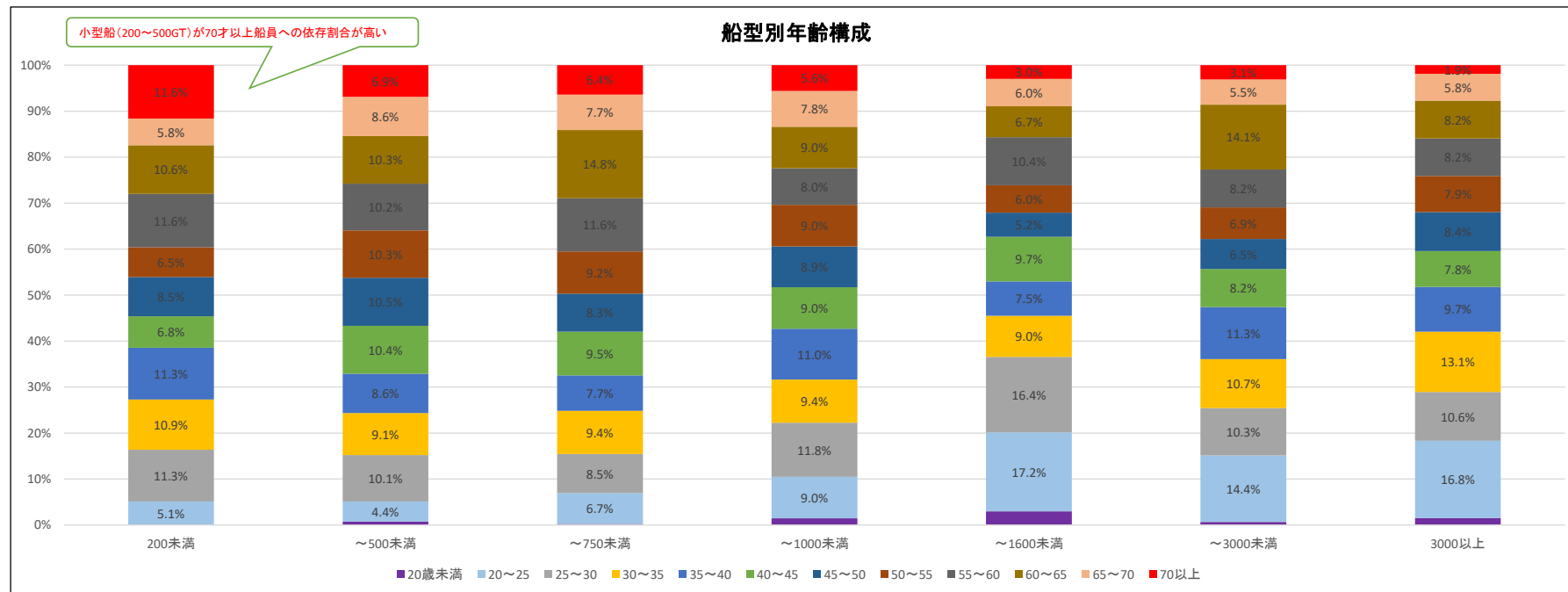
(年齢構成:船型別人数合計)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
合計	200未満	0	15	33	32	33	20	25	19	34	31	17	34	293
	～500未満	10	60	138	125	117	142	143	141	139	141	117	94	1,367
	～750未満	2	61	77	85	70	86	75	83	105	134	70	58	906
	～1000未満	8	50	65	52	61	50	49	50	44	50	43	31	553
	～1600未満	4	23	22	12	10	13	7	8	14	9	8	4	134
	～3000未満	2	42	30	31	33	24	19	20	24	41	16	9	291
	3000以上	21	233	147	182	135	108	117	109	113	114	81	26	1,386
	人数	47	484	512	519	459	443	435	430	473	520	352	256	4,930
	年齢計	883	10,797	13,811	16,545	16,950	18,637	20,435	22,332	26,917	32,202	23,502	18,652	221,663
平均	18.8	22.3	27.0	31.9	36.9	42.1	47.0	51.9	56.9	61.9	66.8	72.9	45.0	

(船型別年齢構成割合)

		20歳未満	20～25	25～30	30～35	35～40	40～45	45～50	50～55	55～60	60～65	65～70	70以上	計
合計	200未満	0.0%	5.1%	11.3%	10.9%	11.3%	6.8%	8.5%	6.5%	11.6%	10.6%	5.8%	11.6%	100.0%
	～500未満	0.7%	4.4%	10.1%	9.1%	8.6%	10.4%	10.5%	10.3%	10.2%	10.3%	8.6%	6.9%	100.0%
	～750未満	0.2%	6.7%	8.5%	9.4%	7.7%	9.5%	8.3%	9.2%	11.6%	14.8%	7.7%	6.4%	100.0%
	～1000未満	1.4%	9.0%	11.8%	9.4%	11.0%	9.0%	8.9%	9.0%	8.0%	9.0%	7.8%	5.6%	100.0%
	～1600未満	3.0%	17.2%	16.4%	9.0%	7.5%	9.7%	5.2%	6.0%	10.4%	6.7%	6.0%	3.0%	100.0%
	～3000未満	0.7%	14.4%	10.3%	10.7%	11.3%	8.2%	6.5%	6.9%	8.2%	14.1%	5.5%	3.1%	100.0%
	3000以上	1.5%	16.8%	10.6%	13.1%	9.7%	7.8%	8.4%	7.9%	8.2%	8.2%	5.8%	1.9%	100.0%
	割合	1.0%	9.8%	10.4%	10.5%	9.3%	9.0%	8.8%	8.7%	9.6%	10.5%	7.1%	5.2%	100.0%

(船型別年齢構成割合グラフ)



5. 職種別平均年齢(乗・下船船員の合計)

(1) 職種別

職種	船員数	年齢計	平均年齢
船長	1,025	56,134	54.8
一航士	921	41,265	44.8
次席一航士	205	9,099	44.4
二航士	810	35,670	44.0
三航士	258	9,069	35.2
小計	3,219	151,237	47.0
甲板長	178	9,129	51.3
甲板手	456	16,634	36.5
甲板員	445	15,535	34.9
見習い	25	627	25.1
司厨員	435	23,143	53.2
小計	1,539	65,068	42.3
機関長	972	50,488	51.9
一機士	685	30,244	44.2
次席一機士	66	2,963	44.9
二機士	187	6,220	33.3
三機士	20	694	34.7
小計	1,930	90,609	46.9
操機長	17	777	45.7
操機手	52	1,334	25.7
機関員	253	8,436	33.3
見習い	11	370	33.6
小計	333	10,917	32.8
合計	7,021	317,831	45.3

(職種別平均年齢の前年対比)

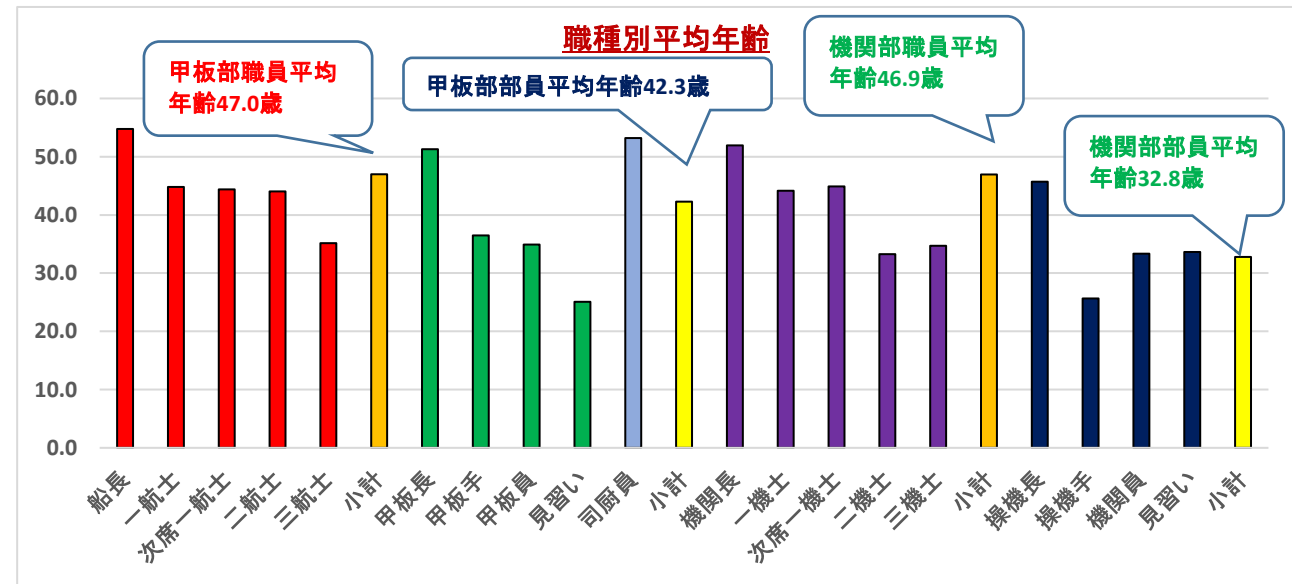
職種	R7年度	R6年度	対比
甲板部職員	47.0	47.1	-0.1
部員	42.3	42.0	0.3
機関部職員	46.9	46.8	0.1
部員	32.8	32.4	0.4

(2) 航海/機関別

(注)本表中、司厨員は甲板部員に参入

R7年度		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,219	151,237	47.0
	部員	1,539	65,068	42.3
	小計	4,758	216,305	45.5
機関部	職員	1,930	90,609	46.9
	部員	333	10,917	32.8
	小計	2,263	101,526	44.9
合計		7,021	317,831	45.3

R6年度(参考)		船員数	年齢計	平均年齢
甲板部	職員	3,347	157,698	47.1
	部員	1,677	70,503	42.0
	小計	5,024	228,201	45.4
機関部	職員	2,015	94,282	46.8
	部員	327	10,587	32.4
	小計	2,342	104,869	44.8
合計		7,366	333,070	45.2



・令和7年度の職種毎の平均年齢は上表のとおりである。

・前年度平均年齢と比較すると、甲板部職員は△0.1歳、甲板部部員は+0.3歳、機関部職員は+0.1歳、機関部部員は+0.4歳。

## 6. 入社歴及び前職

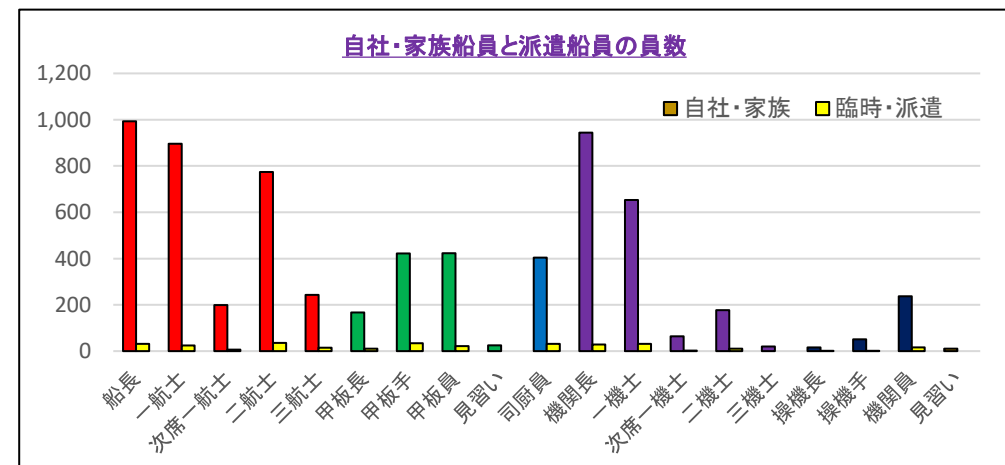
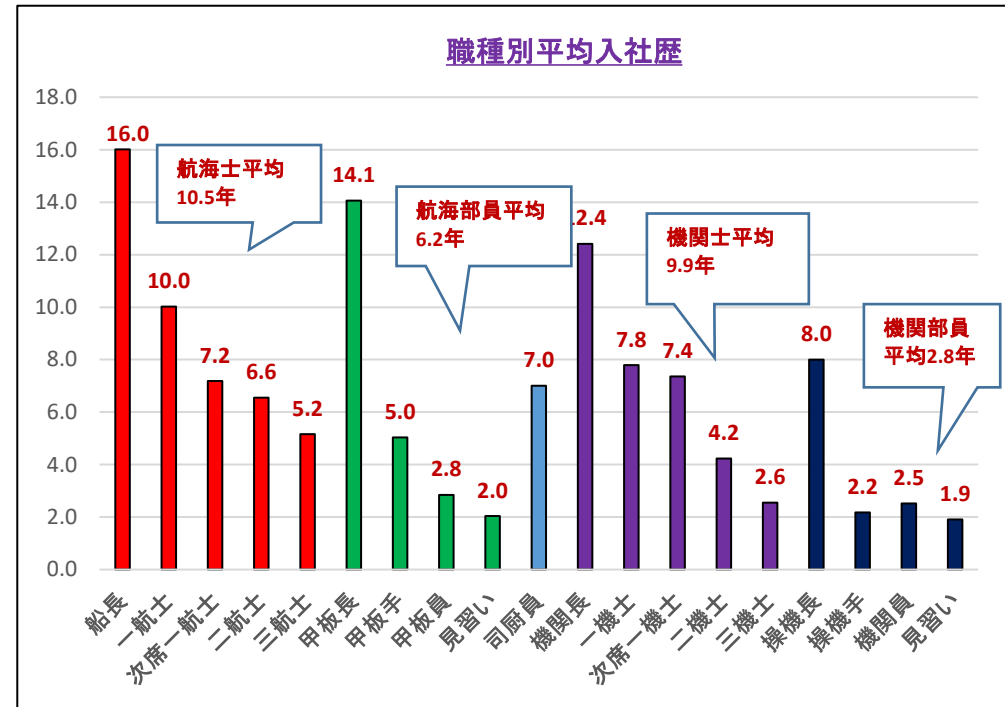
### (1) 職種別船員数及び入社歴と雇用内訳(乗・下船合計)

	船員数	内訳 (*1)			平均入社歴
		自社・家族	臨時・派遣	入社歴計	
船長	1,025	993	32	15,900	16.0
一航士	921	896	25	8,979	10.0
次席一航士	205	199	6	1,430	7.2
二航士	810	774	36	5,070	6.6
三航士	258	243	15	1,254	5.2
<b>小計</b>	<b>3,219</b>	<b>3,105</b>	<b>114</b>	<b>32,633</b>	<b>10.5</b>
甲板長	178	167	11	2,348	14.1
甲板手	456	422	34	2,125	5.0
甲板員	445	423	22	1,203	2.8
見習い	25	25	0	51	2.0
司厨員	435	404	31	2,828	7.0
<b>小計</b>	<b>1,539</b>	<b>1,441</b>	<b>98</b>	<b>8,555</b>	<b>5.9</b>
機関長	972	944	28	11,717	12.4
一機士	685	653	32	5,088	7.8
次席一機士	66	64	2	471	7.4
二機士	187	177	10	749	4.2
三機士	20	20	0	51	2.6
<b>小計</b>	<b>1,930</b>	<b>1,858</b>	<b>72</b>	<b>18,076</b>	<b>9.7</b>
操機長	17	16	1	128	8.0
操機手	52	51	1	111	2.2
機関員	253	237	16	597	2.5
見習い	11	11	0	21	1.9
<b>小計</b>	<b>333</b>	<b>315</b>	<b>18</b>	<b>857</b>	<b>2.7</b>
<b>合計</b>	<b>7,021</b>	<b>6,719</b>	<b>302</b>	<b>60,121</b>	<b>8.9</b>

(\*2)

(\*1): 平均入社歴は自社・家族船員のみを対象とした。

(\*2) 自社・家族船員と臨時・派遣船員の比率は、**自社・家族95.7%**(前年度95.4%)、**臨時・派遣4.3%**(前年度4.6%)で、臨時・派遣船員割合が若干減少。



## (2)職種別船員の前職(全船種合計)

職種	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン	貨物船	外航船員	漁船	その他	未記入	計
船長	105	32	372	171	41	28	45	7	72	121	31	1,025
一航士	139	27	277	135	36	29	63	3	52	133	27	921
次席一航士	25	3	60	35	13	8	20	0	13	25	3	205
二航士	158	18	209	110	25	31	83	1	30	127	18	810
三航士	95	6	62	8	5	2	10	2	9	54	5	258
<b>小計</b>	<b>522</b>	<b>86</b>	<b>980</b>	<b>459</b>	<b>120</b>	<b>98</b>	<b>221</b>	<b>13</b>	<b>176</b>	<b>460</b>	<b>84</b>	<b>3,219</b>
<b>割合</b>	<b>16.2%</b>	<b>2.7%</b>	<b>30.4%</b>	<b>14.3%</b>	<b>3.7%</b>	<b>3.0%</b>	<b>6.9%</b>	<b>0.4%</b>	<b>5.5%</b>	<b>14.3%</b>	<b>2.6%</b>	<b>100%</b>
甲板長	24	4	46	12	1	0	9	2	26	49	5	178
甲板手	161	13	87	8	9	1	11	0	25	129	12	456
甲板員	103	24	66	3	7	0	18	0	20	195	9	445
見習い	15	0	0	1	0	0	0	1	1	5	2	25
司厨員	12	4	123	5	10	0	13	4	3	249	12	435
<b>小計</b>	<b>315</b>	<b>45</b>	<b>322</b>	<b>29</b>	<b>27</b>	<b>1</b>	<b>51</b>	<b>7</b>	<b>75</b>	<b>627</b>	<b>40</b>	<b>1,539</b>
<b>割合</b>	<b>20.5%</b>	<b>2.9%</b>	<b>20.9%</b>	<b>1.9%</b>	<b>1.8%</b>	<b>0.1%</b>	<b>3.3%</b>	<b>0.5%</b>	<b>4.9%</b>	<b>40.7%</b>	<b>2.6%</b>	<b>100.0%</b>
機関長	80	19	334	139	38	25	81	13	75	140	28	972
一機士	112	18	193	78	26	10	43	0	44	140	21	685
次席一機士	9	1	20	5	5	1	4	0	7	13	1	66
二機士	85	6	31	8	3	0	12	1	8	29	4	187
三機士	7	0	3	0	0	0	1	0	1	8	0	20
<b>小計</b>	<b>293</b>	<b>44</b>	<b>581</b>	<b>230</b>	<b>72</b>	<b>36</b>	<b>141</b>	<b>14</b>	<b>135</b>	<b>330</b>	<b>54</b>	<b>1,930</b>
<b>割合</b>	<b>15.2%</b>	<b>2.3%</b>	<b>30.1%</b>	<b>11.9%</b>	<b>3.7%</b>	<b>1.9%</b>	<b>7.3%</b>	<b>0.7%</b>	<b>7.0%</b>	<b>17.1%</b>	<b>16.4%</b>	<b>100%</b>
操機長	2	1	2	5	0	0	1	0	1	4	1	17
操機手	35	2	2	0	0	0	2	0	0	11	0	52
機関員	60	15	30	12	3	1	9	0	12	102	9	253
見習い	1	1	1	0	0	0	0	0	2	6	0	11
<b>小計</b>	<b>98</b>	<b>19</b>	<b>35</b>	<b>17</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>15</b>	<b>123</b>	<b>10</b>	<b>333</b>
<b>総計</b>	<b>1,228</b>	<b>194</b>	<b>1,918</b>	<b>735</b>	<b>222</b>	<b>136</b>	<b>425</b>	<b>34</b>	<b>401</b>	<b>1,540</b>	<b>188</b>	<b>7,021</b>
<b>割合</b>	<b>17.5%</b>	<b>2.8%</b>	<b>27.3%</b>	<b>10.5%</b>	<b>3.2%</b>	<b>1.9%</b>	<b>6.1%</b>	<b>0.5%</b>	<b>5.7%</b>	<b>21.9%</b>	<b>2.7%</b>	<b>100%</b>

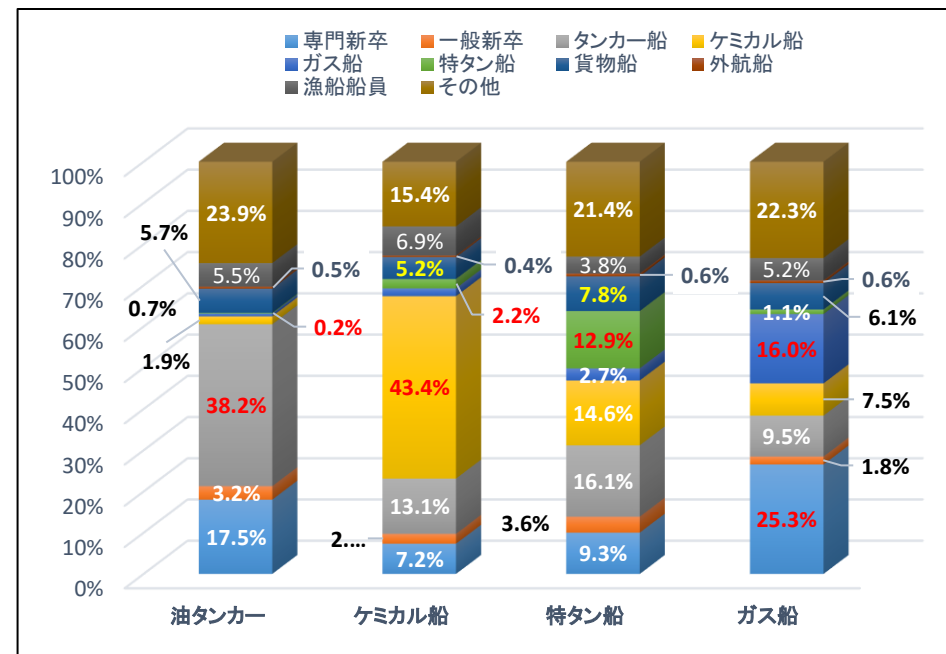
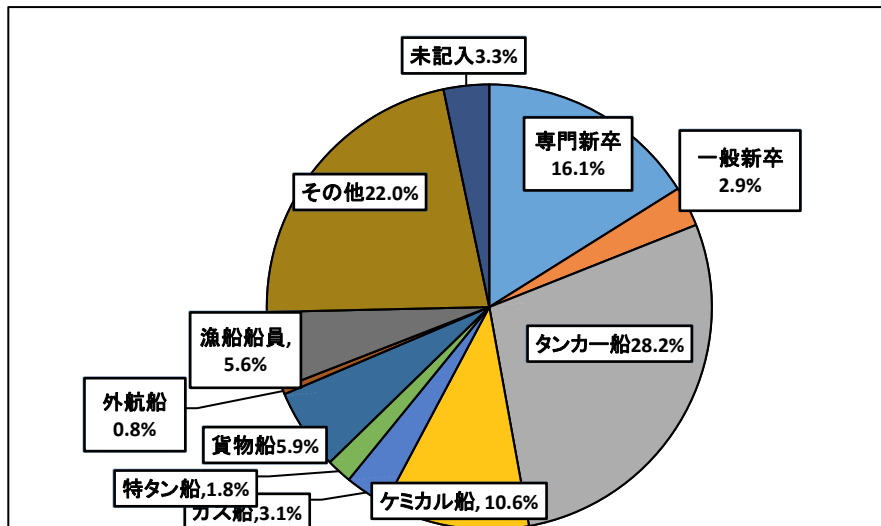
※前職は入社直前の職種を記載している。

※ 前職の上位は、タンカー経験者27.3%、その他21.9%、専門(船員)新卒者が17.5%、ケミカル船が10.5%、貨物船が6.1%、漁船が5.7%となっている。

(3) 船種別船員の前職(乗船中)

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他	未記入	計
油タンカー	525	95	1,144	56	20	5	171	14	166	716	82	2,994
ケミカル船	58	19	106	350	15	18	42	3	56	124	16	807
特タン船	44	17	76	69	13	61	37	3	18	101	34	473
ガス船	166	12	62	49	105	7	40	4	34	146	31	656
合計	793	143	1,388	524	153	91	290	24	274	1,087	163	4,930
比率	16.1%	2.9%	28.2%	10.6%	3.1%	1.8%	5.9%	0.5%	5.6%	22.0%	3.3%	100%

	専門新卒	一般新卒	タンカー船	ケミカル船	ガス船	特タン船	貨物船	外航船	漁船船員	その他
油タンカー	17.5%	3.2%	38.2%	1.9%	0.7%	0.2%	5.7%	0.5%	5.5%	23.9%
ケミカル船	7.2%	2.4%	13.1%	43.4%	1.9%	2.2%	5.2%	0.4%	6.9%	15.4%
特タン船	9.3%	3.6%	16.1%	14.6%	2.7%	12.9%	7.8%	0.6%	3.8%	21.4%
ガス船	25.3%	1.8%	9.5%	7.5%	16.0%	1.1%	6.1%	0.6%	5.2%	22.3%



※特タン船以外は、全ての船種で同じ船種に戻る割合が高くなる傾向。

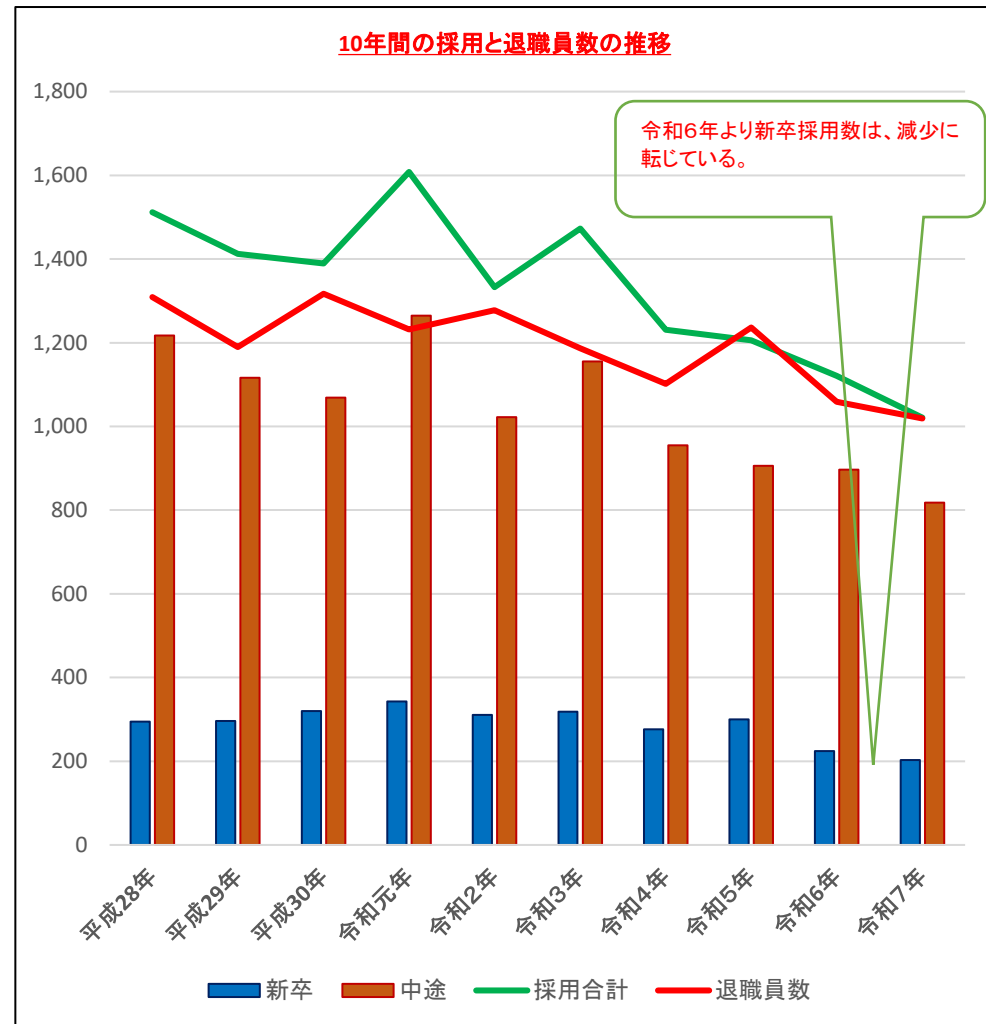
※ガス船は、前職が新卒である割合が最も高く、新卒者の定着率の良さが表れている。

## 7. 採用・退職・休暇関係

## (1) 過去10年間の採用及び退職船員統計表

	新卒	中途	採用合計	退職員数	採用員数 - 退職員数
平成28年	295	1,217	1,512	1,309	203
平成29年	296	1,116	1,412	1,190	222
平成30年	320	1,069	1,389	1,317	72
令和元年	343	1,265	1,608	1,232	376
令和2年	311	1,022	1,333	1,278	55
令和3年	318	1,155	1,473	1,187	286
令和4年	276	955	1,231	1,102	129
令和5年	300	906	1,206	1,236	-30
令和6年	224	897	1,121	1,059	62
令和7年	203	818	1,021	1,019	2
合計	2,886	10,420	13,306	11,929	1,377

(※) 令和7年度新卒採用数は、ここ10年で最低数となった。



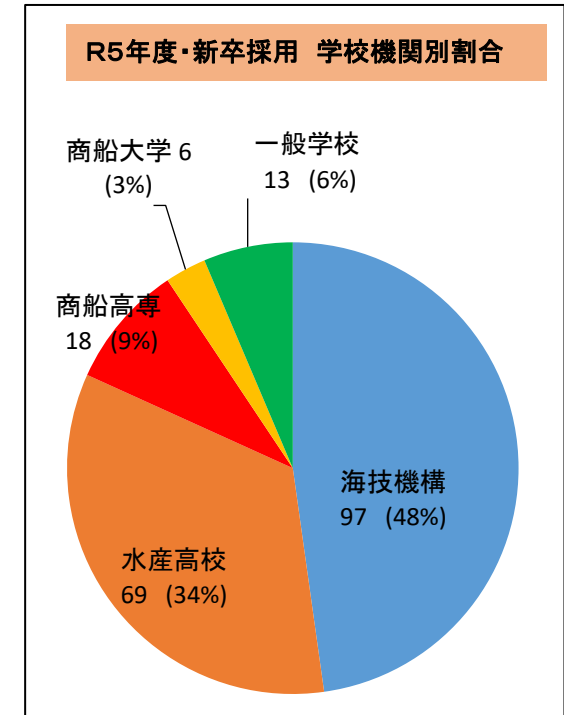
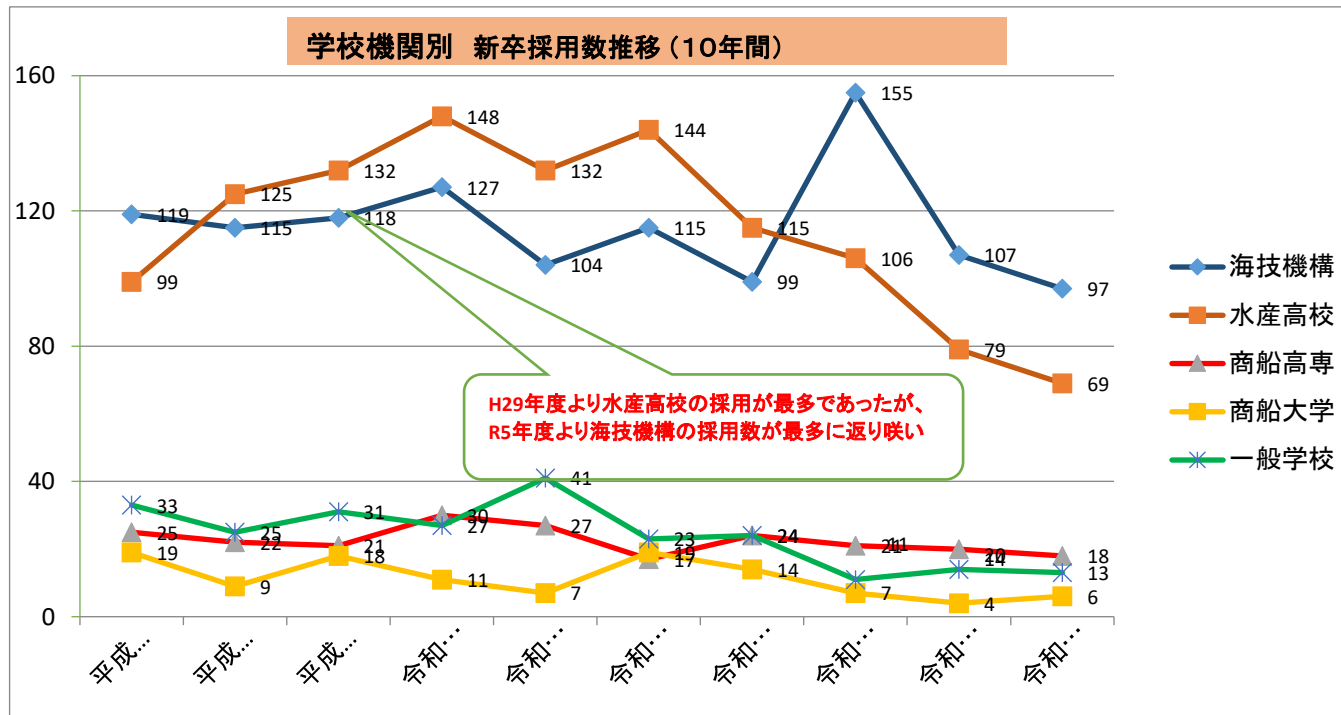
※10年間採用人数13,306名の内、中途採用者は10,420名と全体の78.3%を占めている。

(2)新卒者採用学校別割合及び中途採用者内訳(10年間)

	新卒						中途			合計
	海技機構	水産高校	商船高専	商船大学	一般学校	小計	元船員	船員以外	小計	
平成28年	119	99	25	19	33	295	985	232	1,217	1,512
平成29年	115	125	22	9	25	296	884	232	1,116	1,412
平成30年	118	132	21	18	31	320	872	197	1,069	1,389
令和元年	127	148	30	11	27	343	1,024	241	1,265	1,608
令和2年	104	132	27	7	41	311	833	189	1,022	1,333
令和3年	115	144	17	19	23	318	931	224	1,155	1,473
令和4年	99	115	24	14	24	276	781	174	955	1,231
令和5年	155	106	21	7	11	300	729	177	906	1,206
令和6年	107	79	20	4	14	224	706	191	897	1,121
令和7年	97	69	18	6	13	203	596	222	818	1,021
合計	1,156	1,149	225	114	242	2,886	8,341	2,079	10,420	13,306
	40.1%	39.8%	7.8%	4.0%	8.4%	100.0%	80.0%	20.0%	100.0%	

(※1)教育機関別の新卒採用数は、10年間合計では、海技学校・短大と水産高校が各々40%前後。

(※2)水産高校採用数69名の内訳  
専攻科32名、本科37名 (R7年)



(3) 令和7年度退職状況

		職・部員合計				
		甲板	機関	その他	計	比率
定年		57	27	11	95	9.3%
死亡・障害		3	1	0	4	0.4%
在社期間	一年未満	198	85	40	323	31.7%
	3年未満	147	72	19	238	23.4%
	3年以上	212	132	15	359	35.2%
計		617	317	85	1,019	100.0%

(4) 令和3～令和7年在籍期間対比(5年間)

	職員・部員計					計	%
	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年		
定年	78	94	130	93	95	490	8.7%
死亡・障害	15	15	11	14	4	59	1.1%
一年未満	463	360	331	306	323	1,783	31.8%
3年未満	289	279	280	257	238	1,343	24.0%
3年以上	342	354	484	389	359	1,928	34.4%
計	1,187	1,102	1,236	1,059	1,019	5,603	100.0%

(5) 新卒採用者の離職率

採用		離職時期・数			
時期	数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	計
1年前	180	34	—	—	34
3年前	224	49	51	—	100
5年前	221	54	47	32	133
計	625	137	98	32	267
離職率 (1)		22%	22%	14%	58%
離職率 (2)		44%		14%	58%

(6) 離職率の推移(4年間)

	離職率 (%)				
	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
1年未満	—	23	24	20	22
1～3年	—	25	27	23	22
5年未満	—	15	17	16	14
計	0	63	68	59	58

※ 離職率は令和6年から改善傾向(※R3年データなし)

(7) 育児・介護休暇の取得状況(新規調査)

	育児休暇	介護休暇	計
①取得人数	57	12	69
②取得日数計	4,115	474	4,589
③平均取得日数	72	40	112
④調査船員数計	7,021	7,021	7,021
取得率(①/②)	0.8%	0.2%	1.0%

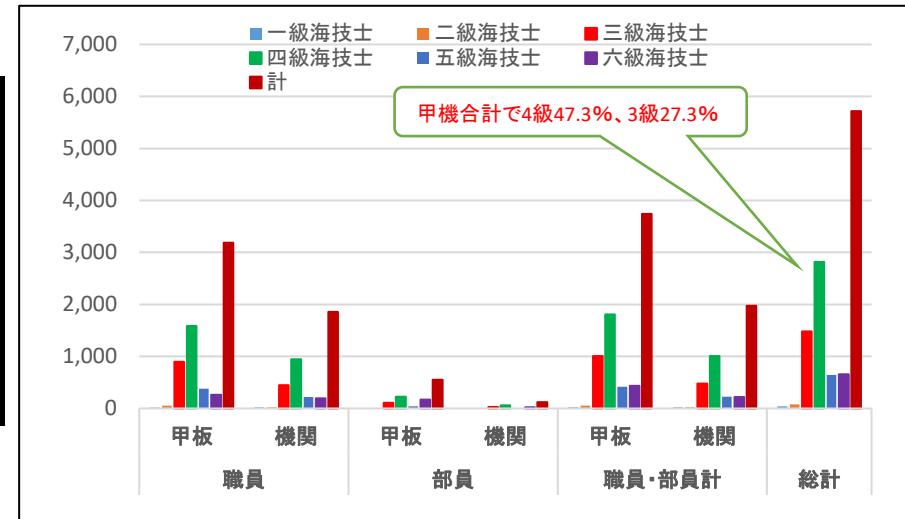
### 8. 海技免状保有状況

#### (1) 甲・機別保有者数

	職員		部員		職員・部員計		総計	比率
	甲板	機関	甲板	機関	甲板	機関		
一級海技士	18	22	2	0	20	22	42	0.7%
二級海技士	51	23	2	1	53	24	77	1.3%
三級海技士	894	450	111	28	1,005	478	1,483	25.9%
四級海技士	1,586	944	225	62	1,811	1,006	2,817	49.3%
五級海技士	377	221	39	7	416	228	644	11.3%
六級海技士	263	195	173	23	436	218	654	11.4%
計	3,189	1,855	552	121	3,741	1,976	5,717	100.0%

※甲板部・機関部とも4級、3級海技士が主流

※6級海技士の部員の所有状況は甲板173名に対し機関23名と少ない。



#### (2) 年齢別保有数

##### イ) 航海士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	1	0	3	5	3	8	20
二級海技士	0	7	12	10	9	15	53
三級海技士	0	237	221	142	203	212	1,015
四級海技士	11	389	379	316	341	409	1,845
五級海技士	0	27	43	74	98	191	433
六級海技士	4	87	85	100	73	103	452
計	16	747	743	647	727	938	3,818

##### ロ) 機関士

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計
一級海技士	0	1	2	1	2	16	22
二級海技士	0	3	4	3	5	9	24
三級海技士	0	99	106	72	73	132	482
四級海技士	3	210	222	170	175	235	1,015
五級海技士	0	20	20	40	45	106	231
六級海技士	2	49	58	54	34	25	222
計	5	382	412	340	334	523	1,996

### 9. 船舶料理士免許保有状況

	所有	未所有	司厨員計	所有割合
乗船中	183	54	237	77.2%
下船中	98	24	122	80.3%
計	281	78	359	78.3%

### 10. STCW基本訓練受講状況・予定

受講時期								
1年以内受講 (又は済み)	2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	6年以内	対象外	未記入	計
2,366	1,453	990	672	315	142	1,016	67	7,021
34%	21%	14%	10%	4%	2%	14%	1%	100%

## 11. 船員不足の考察

### ① 船型別隻数/乗船中船員数(有効回答数)

年度	200GT未満			500GT未満			750GT未満			1000GT未満			1600GT未満			3000GT未満			3000GT以上			合計		
	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数	隻数	員数	平均員数
3	114	394	3.5	266	1,403	5.3	149	1,008	6.8	59	523	8.9	15	143	9.5	34	369	10.9	121	1,424	11.8	758	5,264	6.9
4	112	381	3.4	280	1,405	5.0	155	1,059	6.8	60	537	9.0	14	136	9.7	27	288	10.7	127	1,478	11.6	775	5,284	6.8
5	116	406	3.5	282	1,442	5.1	141	934	6.6	63	558	8.9	13	126	9.7	27	282	10.4	126	1,490	11.8	768	5,238	6.8
6	94	333	3.5	265	1,376	5.2	152	1,023	6.7	60	552	9.2	13	133	10.2	27	288	10.7	129	1,539	11.9	740	5,244	7.1
7	82	293	3.6	266	1,367	5.1	136	906	6.7	62	553	8.9	13	134	10.3	27	291	10.8	116	1,386	11.9	702	4,930	7.0
計	518	1,807	3.5	1,359	6,993	5.1	733	4,930	6.7	304	2,723	9.0	68	672	9.9	142	1,518	10.7	619	7,317	11.8	3,743	25,960	6.9

※ 令和7年度の平均乗員数は、5年間の平均よりも上回った船型が3船型であった(黄色囲み)。

### ② 予備員率

年度	乗船中	下船中	計	予備員率
3	5,264	2,187	7,451	1.42
4	5,284	2,108	7,392	1.40
5	5,238	2,070	7,308	1.40
6	5,244	2,122	7,366	1.40
7	4,930	2,091	7,021	1.42
計	25,960	10,578	36,538	1.41

※予備員率は5年間平均で1.41、7年度は1.42で平均より上回った。

### ③ 臨時・派遣船員数と比率

年度	合計 船員数	自社・ 家族 船員数	臨時・ 派遣 船員数	臨時・ 派遣 比率
3	7,424	7,060	364	4.9%
4	7,394	7,035	359	4.9%
5	7,308	6,937	371	5.1%
6	7,366	7,024	342	4.6%
7	7,021	6,719	302	4.3%
計	36,513	34,775	1,738	4.8%

※臨時・派遣船員割合は5年間平均で4.8%、7年度は4.3%で減少。

### ④ 臨時・派遣船員の職種別内訳

年度	職員 (甲)	部員 (甲)	職員 (機)	部員 (機)	計	職員 (甲機) 割合
3	144	113	87	20	364	63.5%
4	146	107	90	16	359	65.7%
5	156	102	89	24	371	66.0%
6	141	105	82	14	342	65.2%
7	114	98	72	18	302	61.6%
計	701	525	420	92	1,738	64.5%
割合	40.3%	30.2%	24.2%	5.3%	100.0%	

※臨時・派遣船員は6割以上が職員として就労、機関に限れば約8割以上。

## (考察)

### 1. 実乗員数と予備員率からの考察

令和4年度から船員法の改正により労働時間管理の厳格化が行われている中、1,000GT未満船は平均乗員数がやや減少し、1,000以上の大型船は僅かに増加が見られ、全体の予備員率に若干の増加が見られた。これは、大型船所有会社の離職率の減少や新人の教育乗船、休暇の計画的付与などが図られたと結果と思われる。

### 2. 若手船員の確保

新卒採用がここ10年間で最低数の203名となった(10年前の232名より低い)。大型船所有社が採用数を抑制したことが要因と考えられるが、学校訪問で採用意欲のある会社が増加する中、水産高校生の新卒採用が3年間で激減(144→115→106→79)していることは要因を分析の上、出来る対策があれば実行に移す必要性を感じる。船員不足が深刻な状況を考えると、オペレーターが雇用を抑制した場合、同グループの小型船船主の採用につながる仕組みがあると採用数の大幅な変動が避けられ、理想論だが一考の価値がある。

### 3. 船員不足への対応

船員の働き方改革により労働時間の管理や罰則規程の法制化、さらに健康確保への配慮も強化されたことから、船員の働く時間と働き方の見直し、船の運航面の変更も考慮しなければならない状況が続いている。今後も荷物と船舶の需給バランスの問題はあるが、少子高齢化の背景と陸上産業の労働力不足が重なり、船員需給が緩んで来ることは想像できず、船員不足がより顕著に表れることが危惧され、引き続きの対応が必要と考察される。

## 12. 船員対策委員会からの提言

- (1) 将来的に内航タンカー船員が選ばれる職業となるためには、労働時間遵守と健康確保を前提にした仕事のあり方、休日の付与等について、船主、オペレータ、荷主がコンプライアンスを前提にした協力を行い、「内航タンカー船員の働き方改革」を実現しなければならない。  
このためには、国土交通省が設置した「安定・効率輸送協議会」及び「各製品別部会」での荷主対話の機会を最大限に活用すると共に、個社においては、荷主とオペレーター、オペレーターとオーナーが協議のもと、船員問題への前向きな取り組みが必要となる。
- (2) 特に、小型船の船員確保対策は、業界団体のバックアップと共に、オーナー、オペレーターの協力が必要である。
- (3) ベテラン船員の退職と新人船員の早期登用のバランスを取りつつ、技術の伝承を早急に行う必要がある。
- (4) 新卒者の積極的な採用と併行して、若年船員の早期離職の現状を踏まえ、退職防止と業界内つなぎとめ策の検討が必要である。
- (5) 女性船員の確保・活用をさらに進める必要がある。
- (6) 小型船等において高齢船員への依存傾向が続いている中、安全確保のため労務の見直しや軽減策に配慮する必要がある。
- (7) SO<sub>x</sub>規制による新燃料油の使用や暫定措置事業終了による建造方式の変更、中長期的なカーボンニュートラルへの対応等、業界環境も大きな変わり目を迎えている中、船舶の技術革新を今以上に進める必要がある。

以上